

IgA 単独欠損症の輸血に関する問題

加 納 正
(京都大学医学部第一内科)
大 久 保 康 人
吉 村 敬 次
(大阪府赤十字血液センター)

IgA 単独欠損症は型適合輸血に際しても輸血後ショックをきたすことがある。IgA 欠損例に証明される抗 IgA 抗体に基づく反応である。このような危険を避けるために、供血者の中から無症候性の IgA 単独欠損症を見出し、それらを登録することが必要であるし、さらに抗 IgA 抗体に基づく免疫反応に対するより詳細な解析が重要である。具体的には、今後の研究目標として次の様な計画をたてた。

(1) 本邦人供血者の中から IgA 単独欠損症を見出す場合、約16,000人に1人の割合という、欧米の白人の頻度の $\frac{1}{20}$ 程度であることはすでに明らかにした。本邦人では頻度が低いので1例でも多く登録しておく必要がある。少数例の登録では、特定の人が何度も協力する必要がある、その目的を十分に達することはできないのである。IgA 単独欠損症の登録制度は米国、フィンランド、デンマークですでに確立している。

(2) IgA 単独欠損症の輸血後の免疫反応について、次の症例について研究をすすめている。

④ 無顆粒球症を合併した IgA 単独欠損症例に正常人血液を輸血した場合。

⑤ 胃癌を合併した IgA 単独欠損症例に IgA 欠損血液を輸血した場合。同じ症例が後に大腸癌を合併したが、この手術に際しては高度洗滌血液（正常人血液）を輸血した、このときの反応についても併せ検討する。

⑥ 自己免疫性溶血性貧血、大動脈弁狭窄症を合併した IgA 単独欠損症において、新鮮血を必要とする狭窄症の手術が最近行われる予定であるので、現在輸血をどのように進めるか検討中で、その際の免疫反応を分析する。

(3) IgA 単独欠損症を含む成人型原発性免疫不全症の全国調査も進める。

(4) IgA 欠損症の登録制度とともに自己血液の保存制度も考慮中である。

文 献

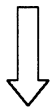
- 1) Vyas, G.N. et al. : Anaphylactoid transfusion reaction associated with anti-IgA. Lancet, II : 312~315, 1968.
- 2) Vyas, G.N. et al. : Healthy blood donors with selective absence of immunoglobulin A : prevention of anaphylactic transfusion reactions caused by antibodies to IgA. J. Lab. Clin. Med., 85 : 838~842, 1975.

- 3) Pineda, A.A. et al. : Transfusion reactions associated with anti-IgA antibodies : Report of four cases and review of the literature. *Transfusion*, **15** : 10~15, 1975.
- 4) Leikola, J. : Transfusion reactions caused by IgA and other plasma proteins. *Vox Sang.*, **31** : 154~158, 1976.



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



IgA 単独欠損症は型適合輸血に際しても輸血後ショックをきたすことがある。IgA 欠損例に証明される抗 1gA 抗体に基づく反応である。このような危険を避けるために・供血者の中から無症候性の IgA 単独欠損症を見出し、それらを登録することが必要であるし、さらに抗 1gA 抗体に基づく免疫反応に対するより詳細な解析が重要である。具体的には、今後の研究目標として次の様な計画をたてた。